

# 地域活性に若い感性

## 横須賀市立中 生徒がキャリア学習

本年度、「よすかキャリア教育推進事業」に取り組んできた横須賀市立坂本中学校(同市坂本町)で18日、2年生によるまとめの会が行われた。吉田雄人市長も出席する中、生徒たちは、町の活性化に向けたアイデアを提案したり、地元の仕事所へ職業体験に訪れた際の感想を発表した。

(岡本 晶子)

### 市長にアイデア提案

市、市教育委員会、横須賀商工会議所が連携し本年度、五つの市立中学校で実施している事業。子どもたちが地元への愛着を持つと同時に、地域の人材育成につなげるのが狙いだ。

この日、生徒たちは四つに分かれ発表を行った。横須賀の町づくりをテーマにしたグループでは、子育てや老後環境の充実を求める意見の一方、市制100周年を記念して作られたキャラクター「スカリン」をゆるキャラとして全国にPRすることや、市内商店街

のポイントカードを統一させるといったアイデアも。吉田市長は「どれも考えさせられる提案ばかり。実現に向け、ぜひ皆さんの力と私の力を合わせて頑張りたい」と応じた。

そのほか、坂本や汐入地区などについて調べた「かわら版」や、職業体験先の事業所を紹介するポスターをパソコンを使って作成、発表したグループも。職業体験に関する新聞を作ったグループは、あいさつ運動の実践や地域通貨の使用、図書館と美術館の相互協力などを提案。市長は一つ一つ興味深そうに聞いていた。



吉田市長(左端)に対し、町の活性化に向けたアイデアを提案する生徒  
横須賀市立坂本中学校